



アドビシステムズ株式会社が 次世代のモーショングラフィックス、ビジュアルエフェクトツール 「Adobe® After Effects® 5.0 日本語版」を発表

3D 合成環境やベクトルペイントツールなど、100 を超えるプロフェッショナルツールを搭載し、多様化するあらゆるデジタルメディアをサポート

【2001 年 4 月 23 日】

アドビシステムズ株式会社（本社：東京都品川区 代表取締役社長：堀 昭一）は本日、同社のモーショングラフィックス、ビジュアルエフェクトソフトウェアである Adobe After Effects の新バージョン「Adobe After Effects（アドビアフターエフェクト）5.0 日本語版」（Standard および ProVersion）を発表しました。Adobe After Effects 5.0 では、100 を超える新機能を搭載しており、映画、ビデオ、マルチメディア、Web といったメディアに向けた、魅力のあるコンテンツを創ることができます。

Adobe After Effects 5.0 日本語版は、Windows®版、Macintosh™版ともにアドビストア（<http://www.adobe.co.jp/store/>）および全国のアドビ製品取り扱い販売会社を通じて2001年5月18日（金）より販売されます。なおアドビストアでは2001年4月23日（月）より予約受付を開始します。

Adobe After Effects 5.0 日本語版（Windows 版、Macintosh 版）アドビストア提供価格

Adobe After Effects 5.0 日本語版：	98,000 円
Adobe After Effects 5.0 日本語版 ProVersion：	198,000 円
Standard Version アップグレード版：	25,000 円
ProVersion アップグレード版：	35,000 円
Standard から ProVersion へのアップグレード版：	120,000 円

著名なモーショングラフィックスのデザインスタジオであるCyberMotionの共同オーナーのクリス マイヤー氏は次のように述べています。「After Effects 5.0 は、大きく前進しました。我々はこれまでにないデザインを創り出せることを大変に喜んでいますが、照明やカメラを利用した3D空間での合成処理が可能になったうえに、描画モードやマットといったこれまで扱い慣れている2Dツールのすべてが使用できます。またエクスペリメンテーションやペアレントコントロールといった新機能によって、これまでなら試せなかった複雑に絡み合ったアニメーションを、短期間で作成できるようになりました。」

また、アドビでは同ソフトウェアの発売を記念して、Standard から ProVersion へのアップグレード版を特別価格 58,000 円で提供する「ProVersion アップグレードキャンペーン」と ProVersion をご購入、ProVersion へアップグレードしていただいた方へのタブレットキャンペーンを以下の通り実施します。

「アップグレードキャンペーン」概要

期 間： 2001年4月23日(月)～2001年9月30日(日)
特別提供製品： Adobe After Effects Standard から ProVersion へのアップグレード版
(Windows 版、Macintosh 版)
特別提供価格： 58,000 円 (アドビストア提供価格)
問い合わせ先： tel. 03-3345-6705
10:00 ～ 12:00、13:00 ～ 17:00 [土・日・祝日を除く]
<http://www.adobe.co.jp/products/aftereffects>

「タブレットキャンペーン」概要

ProVersion のご購入者および ProVersion へのアップグレードされたユーザーを対象に、抽選で 30 名様にワコム製のペンタブレットをプレゼントする「 Adobe After Effects 5.0 ProVersion タブレットキャンペーン」を実施します。

期 間： 2001年5月18日～2001年7月31日
対 象： Adobe After Effects 5.0 ProVersion 日本語版を新規でご購入された方
Adobe After Effects 5.0 ProVersion 日本語版にアップグレードされた方
* アップグレードはすべての旧バージョン、および、5.0 の Standard Version から
5.0 ProVersion へアップグレードした方が対象となります。
当選発表： 上記の弊社 Web サイトにて 2001 年 8 月 6 日に発表いたします。
プレゼントのお届けは 8 月下旬の予定です。
プレゼント： ワコム社ペンタブレット「intuos i-900」

先進的なフォルムに高性能を凝縮した intuos タブレットと 1024 レベル筆圧機能や ± 64 レベル傾き検出機能など、多彩な機能が感性を忠実に表現できる intuos ペンで構成されたタブレットシステム。タブレットのサイズはデスクトップで使いやすい薄型スケッチブックサイズで、入力エリアは A4 です。

タブレットに関する詳細はこちらまで。

<http://www.wacom.co.jp/>

キャンペーンの詳細につきましては下記 URL をご参照ください。

<http://www.adobe.co.jp/products/aftereffects/wacom>

デジタルビデオ市場の拡大にともない、リッチコンテンツに対するニーズはさらに高まりつつあります。After Effects 5.0 には、デザイナーのイメージを映像として現実化すると同時に、創造力をさらに引き出す強力なクリエイティブツールが搭載されています。これまで 3D の奥行き感や遠近感の表現はデザイナーの感覚に大きく依存していましたが、Adobe After Effects 5.0 に新たに搭載された 3D 合成空間を使用することで、遠近感のシュミレートが自動化され、よりリアルな作品を簡単に作成できるようになりました。3D 空間に配置できるカメラの設定ではレンズの絞り、焦点距離、フィルムサイズ、被写界深度を設定できるほか、複数のカメラを設定したり、空間内でカメラを移動させることもできます。また、ライトはスポットやアンビエントといった種類や方向、強さ、カラーの設定のほか、陰影の種類やライトがレイヤーの表面に与える効果を定義することもできます。

さらに、After Effects 5.0 には、アニメーションを設定するときのレイヤーやプロパティの関係を効率的に処理できる機能が搭載されています。まず、「ペアレントコントロール」は、あるオブジェクトが別のオブジェクトのアニメーションの動きに自動的に従うように指定することができます。例えば、複数レイヤーで構成されているロボットのアームでも一連の動きとして表現することができます。「エクスプレッション」では、あるオブジェクトのプロパティが、別のオブジェクトのプロパティを制御するように指定することができます。例えば、一方のオブジェクトが10度回転するたびに、他方のレイヤーの不透明度を10%下げるアニメーションが可能となります。エクスプレッションの作成は、あらかじめ用意された関数を指定して作成する方法以外にも、JavaScriptを用いたスクリプトを独自に組むこともできます。

その他のクリエイティブツールとして、マスク機能が強化され、ウィンドウ上で直接マスクを描画したり、マスクに色をつけて背景と判別しやすくすることが可能になりました。また、After Effects 5.0 ではビデオ編集機能が強化されており、「スリッパ」ツールでムービーをインポートしたり、ワークエリアの「抽出」でムービーの一部を削除することができます。リップルインサート編集機能やオーバーレイ編集機能を利用して、ムービーの途中に別のムービーを割り込ませることもできます。

After Effects 5.0 は、クオリティの高い作品を創ることを目的としたクリエイティビティ面の機能強化だけでなく、同時に作業時間を短縮することも目的としたプロダクティビティの向上にも注意を払っています。アプリケーションの操作感や安定性、レンダリングのスピードはもちろん、データのキャッシングやプレビュー機能が改良されています。例えば、プレビュー機能では、見たい部分だけを範囲指定して確認したり、フルスクリーンでの最終出力プレビュー、さらにピクセル縦横比を補正して実際の DV 画面をプレビューするなど、必要なフィードバックを短時間で得ることができます。また、After Effects 5.0 は、機能およびインタフェースにおいて、Adobe Photoshop®、Adobe Illustrator®、Adobe Premiere®との連携がより強化されており、生産性向上を図ることができます。

コンテンツ配信先としてのWebの重要性が注目されるなど、クロスメディアコンテンツに対するニーズの高まりに応え、After Effects は、NTSC や HDTV はもちろん、フィルム、Cineon、Web ストリーミング、Macromedia Flash(SWF)など幅広いフォーマットをサポートしています。Premiere 6.0 とおなじように、ストリーミングファイルに URL 情報を埋め込むWebマーカ機能も搭載されました。レンダークューを使用して、一つの作品をNTSC と Web へ同時に出力するといったことも可能です。

最後に、ProVersion のみの機能として、ペンで文字を描くように、テキストやイメージが現れるストロークアニメーションやフレームごとにイメージをレタッチするロスコピーング、トラベリングマットの作成を可能にする「ベクトルペイントツール」やフィルムやHDTVの作業環境に対応する「16bit/ カラーチャンネル」のサポート、さらに、キーイング、モーションコントロール、ディストーションエフェクト、オーディオエフェクト、3Dチャンネルエフェクト、ネットワークレンダリングなど、より高度な機能を搭載しています。

アドビ社では、After Effects 5.0 登録ユーザ向けに追加エフェクトのダウンロードサービス (http://www.adobe.co.jp/products/aftereffects/ae5plugin_descrip.html) を提供します。提供されるエフェクトは、Foam (泡をシュミレート)、Wave World (波をシュミレート)、Caustics (水中での光の反射をシュミレート)、Card Wipe (カードが反転するイメージのトランジションを作成)、Card Dance (カードによるダンス効果を生成) の5種類です。また、After Effects 5.0 には、3D レンダリングプラグインの開発を可能にする API が用意されています。プラグイン開発例として、アドビにより開発された Advanced Rendering Plug-in のベータ版を Web サイトよりダウンロードすることができます。なお、Adobe After Effects 5.0 日本語版の詳細な機能紹介については、以下の Web サイトをご覧ください。

<http://www.adobe.co.jp/products/aftereffects/main.html>

必要システム構成

Macintosh 版

- Power Macintosh® (PowerPC G4 プロセッサ搭載モデル、または G4 マルチプロセッサシステムを推奨)
- Mac® OS 9.0.4、9.1 日本語版、Mac OS X Classic 日本語版
- Apple® QuickTime™ 4.1.2 日本語版
- 64MB 以上のアプリケーションメモリ (128MB 以上を推奨)
- 80MB 以上の空き容量のあるハードディスク (500MB 以上のハードディスクまたはディスクアレイシステムを推奨)
- CD-ROM ドライブ
- 24 ビットカラーディスプレイアダプタ

Windows 版

- Intel® Pentium®「またはそれ以上のプロセッサを搭載したパーソナルコンピュータ (Pentium 」もしくは、マルチプロセッサシステムを推奨)
- Microsoft Windows 98 日本語版、Windows 98 Second Edition 日本語版、Windows 2000 日本語版、Windows ME 日本語版
- Apple QuickTime 4.1.2 日本語版
- 128MB 以上の RAM (256MB 以上を推奨)
- 120MB 以上の空き容量のあるハードディスク (500MB 以上のハードディスクまたはディスクアレイシステムを推奨)
- CD-ROM ドライブ
- 24 ビットカラーディスプレイアダプタ

アドビシステムズ社について

アドビシステムズ社は、1982年に創立された、米国カリフォルニア州サンノゼに本社をおくソフトウェア会社です。これまで、Web、印刷、ネットワークパブリッシングで定評のある様々なソフトウェアソリューションを提供し、多くの業界賞を受賞してきました。その優れたグラフィックデザイン、イメージング、映像動画、そしてオーサリングのためのツールは、豊かな視覚効果にあふれ、信頼度の高いコンテンツの制作、管理、配信を可能にします。アドビシステムズ社は米国を本拠とするパーソナルコンピュータ用ソフトウェア会社中第2位で、2000年会計年度の年商は13億ドルを超えています。アドビシステムズ株式会社はその日本法人です。詳細な情報は、Web サイト www.adobe.co.jp でご覧いただけます。